

平成23年10月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 プロトコーポレーション
 コード番号 4298 URL <http://www.proto-g.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 入川 達三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 清水 茂代司

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 052-934-2000

平成23年11月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,725	4.2	2,875	△14.3	2,895	△14.7	1,642	△15.5
23年3月期第2四半期	14,125	14.7	3,356	8.1	3,393	8.2	1,943	4.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,671百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 1,924百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	157.01	—
23年3月期第2四半期	185.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	28,061	21,313	76.0
23年3月期	26,163	20,034	76.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 21,313百万円 23年3月期 20,034百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
24年3月期	—	42.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,140	8.2	6,300	3.1	6,333	△0.7	3,744	17.1	357.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 3社 (社名) MTM Multimedia Sdn Bhd 他
、 除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	10,470,000 株	23年3月期	10,470,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	9,945 株	23年3月期	9,925 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	10,460,058 株	23年3月期2Q	10,460,229 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.5「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成23年11月1日(火).....機関投資家・アナリスト向け決算説明会

・上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

(参考) 個別業績予想

平成24年3月期の個別業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,994	3.8	5,988	0.1	6,106	△3.3	3,650	14.6	348 95

(注) 当四半期における業績予想の修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報等	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	16
4. 補足情報	17
(1) 生産、受注及び販売の状況	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期のわが国経済は、東日本大震災の復旧・復興が進み景気は緩やかな回復傾向にありましたが、欧米の金融市場の混乱を背景とした円高の進行により景気下振れ懸念が高まるなど、日本経済の先行きに不透明感が増しております。こうした経済環境の中、当社グループの主要顧客である自動車販売業界におきましては、東日本大震災の影響により国内生産が大幅に停滞したため、当第2四半期の新車販売台数は前年実績を下回る水準で推移しております。また、中古車登録台数につきましても前年実績を下回る厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、企業ブランドならびに商品ブランドの確立を経営戦略上の重点課題と位置付け、自動車関連情報分野の更なる拡充と生活関連情報分野の事業拡大に取り組む、事業の成長維持による「企業価値の最大化」を推し進めてまいりました。具体的には、多様化する消費行動・消費者ニーズに即した商品・サービス(機能)の開発・提供を通じて国内シェアをより一層高め、「Goo」をはじめとした商品ブランドの更なる強化に努めると同時に、『情報を未来の知恵に』をメッセージとした企業ブランドの確立を図ってまいりました。

なお、東日本大震災による影響としましては、当社グループへの損害は軽微だったものの、東北地方の一部顧客において、地震や津波による被害が発生いたしました。このため日本赤十字社を通じての義援金の拠出や、被災地の中古車販売フェアの企画・協賛を通じて復興支援を実施してまいりました。

また、平成23年6月に株式会社マップ・コミュニケーションズから介護情報誌「ハートページ」事業を取得し、介護情報誌事業・介護情報サイト運営事業を開始し、事業領域の拡大に取り組んでまいりました。

こうした取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主要事業である自動車関連情報分野と生活関連情報分野において、東日本大震災発生後の広告活動自粛による影響はあったものの、EC売上等が堅調に推移したことや、介護・医療・福祉業界向けサービスの売上が増収に寄与したことなどから、14,725百万円(対前年同四半期比4.2%増)となりました。営業利益につきましては、IT事業のプロモーション強化に伴う広告宣伝費の増加や、海外事業の調査費用などの発生により、2,875百万円(対前年同四半期比14.3%減)となりました。経常利益につきましては2,895百万円(対前年同四半期比14.7%減)、四半期純利益につきましては1,642百万円(対前年同四半期比15.5%減)となりました。

(参考情報) 連結業績予想と実績との差異

(金額単位：百万円)

	平成24年3月期第2四半期連結累計期間		
	業績予想	実績	差異
売上高	14,603	14,725	122
営業利益	2,485	2,875	390
経常利益	2,488	2,895	406
四半期純利益	1,389	1,642	252

なお、事業のセグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

①自動車関連情報

当社グループを取り巻く外部環境が厳しい状況で推移する中、中古車販売店の仕入れから販売までの総合的な経営支援を事業方針に掲げ、取引社数の拡大ならびに顧客当たりの取引単価の維持・拡大に努めてまいりました。

当第2四半期におきましては、クルマ情報誌「Goo」の事業エリア拡大(①平成23年7月「Goo甲信越版」新潟エリアへの拡大 ②平成23年8月「Goo四国版」創刊 ③平成23年9月「Goo沖縄版」創刊)ならびに、取引社数の拡大を図るとともに「Goo-net」の中古車データベースの拡充に取り組んでまいりました。バイクパーツ・用品に係るEC事業につきましては、引き続き取扱商品点数の拡充を図ってまいりました。

また、インターネット・モバイルメディアにおいて、iPhoneやiPad、Android端末等を通じてカーライフに役立つ電子ブックの拡充や、車検見積りが可能なiPhone用アプリケーション「Goo-net車検」等の提供を通じ、細分化された消費者ニーズの充足・ユーザー接点の最大化を図ることで「Goo」ブランドの更なる強化を図ってまいりました。

こうした、ユーザーの様々なニーズに応えることができる環境の整備に取り組んだ結果、中古車販売台数が伸び悩むマーケットの中でも、当社のメディアを利用するユーザーの拡大や購買意欲の向上が図られることとなり、当社クライアントにおける販売機会の拡大へとつながっております。

以上のことを通じて競争優位性の確立による「Goo」ブランドの強化に取り組んだ結果、売上高は12,999百万円(対前年同四半期比3.2%増)となりました。営業利益につきましては、クルマ情報誌「Goo」の事業エリア拡大における先行投資の発生およびIT事業のプロモーション強化に伴う広告宣伝費の増加により、3,644百万円(対前年同四半期比7.0%減)となりました。

②生活関連情報

ユーザー・クライアントニーズを的確に捉えた商品・サービスの開発・提供に努め、コンテンツの拡充とサービス(機能)の拡充を通じてメディアパワーの強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期におきましては、ケア関連情報事業及びハートページ事業のコンテンツの拡充・取引社数の拡大を図ってまいりました。人材紹介・人材派遣事業につきましては、事業効率の改善による営業基盤の強化に取り組むとともに、プロモーションの強化により提携先施設の拡大を図ってまいりました。リサイクル・リユース情報事業につきましては、リユース総合サイト「グーリユース」の運営を開始し、コンテンツの拡充を図るとともにユーザー及びクライアントの利便性の向上に努めてまいりました。

以上の結果に加え、インターネット広告代理事業が増収に寄与したことから売上高は1,548百万円(対前年同四半期比24.4%増)となりました。営業利益につきましては、事業拡大に伴う人件費の増加ならびにIT事業のプロモーション強化に伴う広告宣伝費が増加したため、67百万円(対前年同四半期比54.6%減)となりました。

③不動産

当社および株式会社リペアテックが自社物件の賃貸管理を中心に行い、売上高は82百万円(対前年同四半期比12.5%減)、営業利益は40百万円(対前年同四半期比28.3%減)となりました。

④その他事業

株式会社プロトデータセンターのBPO（ビジネス プロセス アウトソーシング）事業において、グループ外企業との取引が拡大したものの、前連結会計年度において株式会社マーズフラッグを売却し連結グループから除外したことから、売上高は95百万円（対前年同四半期比51.4%減）となりました。営業利益につきましては87百万円の営業損失（前年同四半期実績は54百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は28,061百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,898百万円増加いたしました。資産、負債及び純資産の状況につきましては、次のとおりであります。

i 資産

流動資産につきましては、MTM Multimedia Sdn Bhdの子会社化に伴う株式取得に係る支払や未払法人税等の支払により現金及び預金が減少した結果15,059百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,002百万円減少しております。固定資産につきましては、MTM Multimedia Sdn Bhdの子会社化に伴いのれんを計上したことから13,002百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,900百万円増加しております。

ii 負債

流動負債につきましては、事業規模拡大に伴う支払債務の増加、税金費用の増加に伴う未払法人税等の増加などにより6,300百万円となり、前連結会計年度末と比較して661百万円増加しております。固定負債につきましては、長期借入金が増加したことから447百万円となり、前連結会計年度末と比較して42百万円減少しております。

iii 純資産

配当金の支払が392百万円あったものの、四半期純利益の計上により、利益剰余金が増加したことから純資産は21,313百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,279百万円増加しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物につきましては、前連結会計年度末と比較して1,670百万円減少し、10,806百万円となりました。現金及び現金同等物が減少した主な要因につきましては、次のとおりであります。

i 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払による支出が1,326百万円発生したものの、税金等調整前四半期純利益2,889百万円を計上したことなどにより、1,977百万円の収入となりました。

ii 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出が304百万円、子会社株式の取得による支出が2,842百万円、事業譲受による支出が100百万円発生したことなどにより、3,210百万円の支出となりました。

iii 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に当社において前期期末配当金の支払による支出が394百万円発生したことにより、437百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

上期は、本年5月12日公表の計画を上回るペースで好調に進捗しております。

下期においては、本年9月に子会社化したMTM Multimedia Sdn Bhdが寄与するものの、日本国内は、依然として景気先行きの不透明感による個人消費の買い控え傾向が続いていることから、中古車購入需要の喚起を企図したプロモーションの強化による営業費用の増加を見込んでおります。

また、進捗が遅れている株式会社プロトデータセンターのBP0(ビジネス プロセス アウトソーシング)事業の売上計画を見直すとともに、上期に引き続いて自動車関連情報分野の海外事業展開を企図した調査費等の発生を見込んでおります。

以上の結果、平成24年3月期の業績見通しにつきましては、売上高は当初計画に対して140百万円増の31,140百万円(対前年同期比8.2%増)、営業利益は当初計画を据え置いた6,300百万円(同3.1%増)を見込んでおります。また、経常利益は6,333百万円(同0.7%減)、当期純利益は3,744百万円(同17.1%増)を見込んでおります。

上記の業績見通しは、現段階の入手可能な情報による判断および仮定に基づいて算定しておりますが、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況の変化等により、実際の売上高および利益は、上記に記載した予想数値と大きく異なる場合がありますことをご了承下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

新規：MTM Multimedia Sdn Bhd

当社は、国内最大級の中古車登録台数を誇るクルマ・ポータルサイト「Goo-net」を軸に消費者メリットを追求した様々なサービスを提供するとともに、国内中古車販売店ならびに整備・板金・塗装工場に対する総合的な経営支援サービスの強化に努め、国内市場でのシェア拡大に取り組んでおります。主力事業である自動車関連情報事業の更なる成長を図っていくため、事業のグローバル展開を方針に掲げ、拡大基調にあるASEAN市場への進出を検討してまいりました。同社を子会社化することで、ASEAN市場における事業基盤を確保するとともに、クルマ・ポータルサイト「Goo-net」で培ってきたIT事業のノウハウを活用することにより、更なる事業拡大を図ってまいります。

(2) 四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,748,091	11,078,371
受取手形及び売掛金	2,654,846	2,876,193
有価証券	19,076	17,745
商品及び製品	27,328	67,736
仕掛品	61,211	66,819
原材料及び貯蔵品	2,642	22,781
繰延税金資産	217,143	421,748
その他	334,814	531,418
貸倒引当金	△3,779	△23,729
流動資産合計	16,061,374	15,059,084
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,966,919	3,048,627
土地	3,998,869	4,021,355
その他(純額)	120,326	161,375
有形固定資産合計	7,086,115	7,231,358
無形固定資産		
のれん	954,252	3,674,117
その他	154,887	223,793
無形固定資産合計	1,109,140	3,897,910
投資その他の資産		
投資有価証券	499,156	534,628
繰延税金資産	599,783	538,404
その他	900,979	851,375
貸倒引当金	△93,035	△51,175
投資その他の資産合計	1,906,884	1,873,232
固定資産合計	10,102,139	13,002,501
資産合計	26,163,513	28,061,586

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	776,034	941,830
1年内返済予定の長期借入金	82,821	79,236
未払費用	1,251,505	1,638,671
未払法人税等	1,333,671	1,416,916
前受金	1,741,097	1,809,450
返品調整引当金	95,545	102,229
賞与引当金	41,813	52,308
その他	316,622	259,707
流動負債合計	5,639,110	6,300,350
固定負債		
長期借入金	53,954	14,336
退職給付引当金	882	1,138
役員退職慰労引当金	232,300	236,650
資産除去債務	73,268	73,643
負ののれん	21,917	17,030
その他	107,573	104,787
固定負債合計	489,895	447,586
負債合計	6,129,006	6,747,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,824,620	1,824,620
資本剰余金	2,011,736	2,011,736
利益剰余金	16,236,318	17,486,425
自己株式	△13,598	△13,659
株主資本合計	20,059,077	21,309,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,252	15,657
為替換算調整勘定	△12,317	△11,130
その他の包括利益累計額合計	△24,570	4,526
純資産合計	20,034,506	21,313,649
負債純資産合計	26,163,513	28,061,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	14,125,503	14,725,439
売上原価	5,715,749	6,292,455
売上総利益	8,409,754	8,432,983
返品調整引当金戻入額	193,712	95,545
返品調整引当金繰入額	95,884	84,010
差引売上総利益	8,507,582	8,444,519
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	2,328,257	2,312,415
役員退職慰労引当金繰入額	9,625	9,500
賞与引当金繰入額	35,530	37,329
広告宣伝費	590,512	938,011
貸倒引当金繰入額	5,365	17,670
のれん償却額	211,303	169,224
その他	1,970,909	2,084,637
販売費及び一般管理費合計	5,151,503	5,568,788
営業利益	3,356,078	2,875,731
営業外収益		
受取利息	8,343	8,741
受取配当金	2,706	3,122
負ののれん償却額	4,886	4,886
古紙売却収入	8,348	15,806
貸倒引当金戻入額	—	20,073
その他	23,635	18,455
営業外収益合計	47,921	71,086
営業外費用		
支払利息	4,260	1,374
為替差損	—	37,223
その他	6,334	13,100
営業外費用合計	10,595	51,698
経常利益	3,393,403	2,895,118
特別利益		
固定資産売却益	—	70
投資有価証券売却益	—	8,371
債務免除益	6,106	—
特別利益合計	6,106	8,441
特別損失		
固定資産売却損	43	40
固定資産除却損	295	2,838
投資有価証券評価損	0	4,291
減損損失	39,765	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53,517	—
災害による損失	—	4,418
賃貸借契約解約損	444	2,904
特別損失合計	94,066	14,493

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
税金等調整前四半期純利益	3,305,443	2,889,066
法人税、住民税及び事業税	1,651,403	1,408,932
法人税等調整額	△285,588	△162,225
法人税等合計	1,365,815	1,246,706
少数株主損益調整前四半期純利益	1,939,628	1,642,359
少数株主損失(△)	△4,032	—
四半期純利益	1,943,661	1,642,359

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,939,628	1,642,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,718	27,909
為替換算調整勘定	△5,213	1,186
その他の包括利益合計	△14,931	29,096
四半期包括利益	1,924,696	1,671,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,928,729	1,671,456
少数株主に係る四半期包括利益	△4,032	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,305,443	2,889,066
減価償却費	156,764	138,500
減損損失	39,765	—
のれん償却額	211,303	169,224
負ののれん償却額	△4,886	△4,886
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,625	4,350
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,726	10,494
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△97,523	△11,535
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,539	△8,499
受取利息及び受取配当金	△11,050	△11,863
支払利息	4,260	1,374
投資事業組合運用損益(△は益)	2,746	2,022
匿名組合投資損益(△は益)	△13,942	△765
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△8,371
投資有価証券評価損益(△は益)	0	4,291
固定資産除売却損益(△は益)	338	2,839
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53,517	—
売上債権の増減額(△は増加)	△69,402	△382,367
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,408	△66,155
仕入債務の増減額(△は減少)	△121,592	134,064
未払費用の増減額(△は減少)	236,128	361,130
前受金の増減額(△は減少)	△39,289	66,767
未払消費税等の増減額(△は減少)	△111,926	5,123
その他	△111,346	△1,735
小計	3,423,259	3,293,069
利息及び配当金の受取額	11,061	11,426
利息の支払額	△4,218	△1,366
法人税等の支払額	△1,432,174	△1,326,114
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,997,927	1,977,015
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	1,669	61
有形固定資産の取得による支出	△29,171	△264,856
無形固定資産の取得による支出	△25,269	△39,956
長期前払費用の取得による支出	△5,591	△7,477
投資有価証券の売却による収入	—	14,723
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△621,355	△2,842,350
事業譲受による支出	△380,000	△100,000
その他	17,046	29,284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,042,672	△3,210,570
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△70,439	△43,203
自己株式の取得による支出	△403	△60
配当金の支払額	△366,282	△394,063
財務活動によるキャッシュ・フロー	△387,125	△437,327
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,301	363
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	565,827	△1,670,519
現金及び現金同等物の期首残高	11,207,424	12,476,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,773,251	10,806,041

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に自動車ならびに生活に関連する情報を収集・整理・分類し、有用な情報コンテンツに加工した上で、当社グループのメディアを通じて消費者ならびに法人企業の皆様に提供するとともに、法人企業の事業運営を支援する関連サービスの提供を行っております。従って、当社グループはこの情報コンテンツを基にセグメントが構成されており、「自動車関連情報」、「生活関連情報」、「不動産」及び「その他事業」の4つを報告セグメントとしております。なお、各報告セグメントに含まれる主要品目は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要品目等
自動車関連情報	クルマ情報誌「Goo」 輸入車情報誌「GooWORLD」 バイク情報誌「GooBike」 クルマパーツ情報誌「GooParts」 バイク専門誌「Bike Bros.」「ROAD RIDER」 クルマ・ポータルサイト「Goo-net」 週刊オークション情報 中古車データ検索システム「データライン」 月刊ボデーショップレポート 板金塗装見積りシステム「モレノン」 自動車整備業マネジメントシステム「SuperATOM3」「PIT3」
生活関連情報	有料老人ホーム・シニア住宅検索サイト「オアシスナビ」 介護・医療・福祉の求人・転職サイト「介護求人ナビ」 看護師専門求人情報サイト「ナースエージェント」 医師・看護師・薬剤師の就職・転職支援サービス「Medical CUBIC」 資格・スキル・趣味・学校の専門サイト「VeeSCHOOL」 リサイクル総合情報サイト「おいくら」 アフィリエイトプログラム「Challenging Japan」
不動産	賃貸等不動産の保全・管理
その他事業	見える！検索エンジン「MARS FLAG」 見える！サイト内検索「MARS FINDER」 BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動車 関連情報	生活 関連情報	不動産	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,590,990	1,244,260	94,538	195,714	14,125,503	—	14,125,503
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	323	60,138	19,387	79,849	△79,849	—
計	12,590,990	1,244,583	154,677	215,101	14,205,352	△79,849	14,125,503
セグメント利益 又は損失(△)	3,919,767	149,531	55,967	△54,261	4,071,005	△714,926	3,356,078

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△79,849千円、全社費用△635,077千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、「自動車関連情報」セグメントにて減損損失39,765千円を計上しております。主な要因は、支社施設の建替えに伴って発生したものであります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間末ののれんは1,481,897千円となり、前連結会計年度末と比較して822,953千円増加いたしました。のれんが増加した主な要因は次のとおりであります。

「自動車関連情報」セグメントにおいて、平成22年4月に株式会社バイクプロスを子会社化したことに伴い、654,401千円ののれんを計上しております。また、株式会社日本文化社が運営する中古車情報「Mj(エムジェイ)」事業を平成22年4月に譲受け、380,000千円ののれんを計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に自動車ならびに生活に関連する情報を収集・整理・分類し、有用な情報コンテンツに加工した上で、当社グループのメディアを通じて消費者ならびに法人企業の皆様に提供するとともに、法人企業の事業運営を支援する関連サービスの提供を行っております。従って、当社グループはこの情報コンテンツを基にセグメントが構成されており、「自動車関連情報」、「生活関連情報」、「不動産」及び「その他事業」の4つを報告セグメントとしております。なお、各報告セグメントに含まれる主要品目は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要品目等
自動車関連情報	クルマ情報誌「Goo」 輸入車情報誌「GooWORLD」 バイク情報誌「GooBike」 クルマパーツ情報誌「GooParts」 バイク専門誌「ROAD RIDER」 クルマ・ポータルサイト「Goo-net」 バイク専門ポータルサイト「BikeBros.」 週刊オークション情報 中古車データ検索システム「データライン」 月刊ボデーショップレポート 板金塗装見積りシステム「モレノン」 自動車整備業マネジメントシステム「SuperATOM3」 「PIT3」
生活関連情報	有料老人ホーム・シニア住宅検索サイト「オアシスナビ」 介護・医療・福祉の求人・転職サイト「介護求人ナビ」 看護師専門求人情報サイト「ナースエージェント」 医師・看護師・薬剤師の就職・転職支援サービス「Medical CUBIC」 介護情報誌「ハートページ」 資格・スキル・趣味・学校の専門サイト「VeeSCHOOL」 リサイクル総合情報サイト「おいくら」 アフィリエイトプログラム「Challenging Japan」
不動産	賃貸等不動産の保全・管理
その他事業	BPO (ビジネスプロセスアウトソーシング)

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動車 関連情報	生活 関連情報	不動産	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,999,376	1,548,271	82,731	95,059	14,725,439	—	14,725,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,721	311	62,962	16,356	90,352	△90,352	—
計	13,010,097	1,548,583	145,694	111,416	14,815,792	△90,352	14,725,439
セグメント利益 又は損失(△)	3,644,327	67,942	40,134	△87,163	3,665,240	△789,509	2,875,731

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△10,695千円、全社費用△778,814千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間末ののれんは3,674,117千円となり、前連結会計年度末と比較して2,719,864千円増加いたしました。のれんが増加した主な要因は次のとおりであります。

「生活関連情報」セグメントにおいて、平成23年6月に株式会社マップ・コミュニケーションズが運営する介護情報誌「ハートページ」の発行事業、及び介護情報ポータルサイト「ハートページ.ネット」の運営事業を譲受け、100,000千円ののれんを計上しております。

「自動車関連情報」セグメントにおいて、平成23年9月にMTM Multimedia Sdn Bhdの株式取得に伴い、2,789,089千円ののれんを計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間(千円)	前年同四半期比(%)
自動車関連情報	2,390,229	95.5
生活関連情報	532,104	155.9
合計	2,922,333	102.8

- (注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。
 2 金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 生産実績につきましては、自動車関連情報、生活関連情報における外注費を表示しております。不動産及びその他事業につきましては、生産実績がありませんので、記載いたしておりません。

②受注実績

受注後売上計上までの期間が概ね1ヶ月以内であるため、記載を省略しております。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間(千円)	前年同四半期比(%)
自動車関連情報	12,999,376	103.2
情報登録・掲載料	9,582,466	97.1
情報提供料	3,416,909	125.3
生活関連情報	1,548,271	124.4
不動産	82,731	87.5
その他事業	95,059	48.6
合計	14,725,439	104.2

- (注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。
 2 金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 自動車関連情報の情報登録・掲載料につきましては、主に情報誌への広告掲載料であります。また、情報提供料につきましては、主に個人向け情報誌の本売上及び法人向けデータ提供料であります。
 4 連結売上高に占めるクルマ情報誌「Goo」の割合は、31.6%であります。

当第2四半期連結累計期間の販売実績を地域別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

地域別セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間(千円)	前年同四半期比(%)
北海道・東北地区	1,043,480	90.1
関東・甲信越地区	6,593,695	107.7
東海・北陸地区	2,738,156	100.1
近畿地区	2,674,520	103.6
中国・四国地区	555,367	103.0
九州・沖縄地区	806,197	94.8
その他(海外)	314,022	225.2
合計	14,725,439	104.2

- (注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。
 2 金額には、消費税等は含まれておりません。